

市民の皆さまからの意見募集状況

令和6年02月07日時点

資料 6

※回答番号の黄色箇所が追加分

回答番号	年齢(世代)	学校施設に求められる学習空間のあり方、あるいは公共施設として求められる機能について	10の論点	キーワード
1	50-59歳	子どもたちが心身の健全な成長のための学校生活であって欲しいと望みます。食事や生活習慣が心と体のバランスに直結していることをしっかりと学び、学習や運動パフォーマンスも良くなることに喜びを実感できるようなカリキュラムにする	その他	学習環境
2	40-49歳	子供を〇〇中学校に通わせている保護者です。どの先生も、とても工夫されて、生徒に分かりやすく授業をしようという熱意を感じます。先生は、授業外にも様々なイベントや、過大な業務や雑務にも追われていると思います。様々なイベント、過大な業務や雑務によって「生徒に各先生の専門の科目を分かりやすく教える」という本来の先生の仕事を手薄になるのではないかと不安です。様々なイベントや過大な業務、雑務の手助けをするパートを1人の先生につき1人くらい多めに雇う、あるいは業務委託によってまかなう、などの対策も必要かと思えます。もちろん、勉強を教えるだけが教師の仕事ではなく、様々なイベントや業務、雑務を通じて、生徒に伴走する事も先生の仕事であると思います。しかし、学校内の数名の先生の狭い視点だけではなく、地域社会などの外部の多様な視点で生徒を見守る事も意義のある事だと思えます。先生の過大な負担が減る事を望みます。	その他	働き方改革
3	～ 19歳	エレベーターなどがある	7	エレベーター
4	40-49歳	新しい学校のあるべき姿が夢のような空間過ぎて驚いています。公立学校、施設にそのような学習空間が実現すれば子どもたちは自由に過ごし、自ら積極的に学ぶ力が身に付くのかもかもしれません。理想と現実とがかけ離れすぎています。今の学校は私が通っていた頃よりもさらに窮屈なルールに縛られています。子どもたちから学校の様子を聞くと毎日通うだけでもよく頑張っているなあと感じます。我が子は豊田小に通っていますが、生徒の人数が多すぎて、さらに仕方ないことなのですが、数時間にわたる工事の影響もあり、先生方の負担もとても大きく、各学年それぞれに問題を抱えているような状況が窺えます。この先、働く人口が先細りとなるなかでの教育はどのようになされていくのか…新しいことを取り入れていくことにはもちろん賛成いたしますが、色々なことを決めていく方々には現場をよく見ていただきたい。	1	学習空間
5	40-49歳	地球温暖化による夏の高温化や雨の多さで、水泳の授業がほとんどできていません。スイミングスクールや東部会館のプールの活用や地域ごとに拠点となる屋内プールを作るなどして、1年を通して活用できるようにしてほしいです。学校公開へ行つた際に思いましたが、クラスの人数が多すぎます。ひとクラス20人位にして欲しいです。人数を減らすことで、先生も一人ひとりに目を配れるようになり、しっかりと見てもらえることで、子供たちも落ち着いて過ごせるようになると思います。更に各クラスに1人か2人、先生のアシスタントが必要だと感じました。先生方の負担を減らすためにも、今の事務室を拡大して、学校全般の事務仕事を任せるとはどうかと思います。人材はパートや任期付職員員の雇用。感染症などで学校へ行かない子のために、オンラインで授業を受けられるようにしてほしいです。	その他, 1, 2	プール、少人数授業、働き方改革、オンライン授業
6	40-49歳	不登校のお子さんが自由に通えるようにするフリースクールの増設や、小学校や中学校などの通信制授業の選択や確立など、子ども達が学ぶ環境を自由選択できるようになること。また、発達障害のお子さんに対する差別や偏見、発達障害に間違われるお子さんが増えているなど、発達障害に対して、世間が過剰に反応していて、差別化や偏見の見方を今の教育や世間が助長しないかと、正直不安に思う。インクルーシブ教育など、教育のあり方＝発達障害と決めつけるのではなく、一人ひとりの人として個性などを認め、ひとりひとりにあった教育を受けられるようにしてほしい。教職員もそういう考えをもって、教育現場で子ども達に向きあって欲しい。また、発達障害などを認めた場合であっても、就職まで、責任もって子ども達の育ちを見守っていただきたい。生活が困窮で塾などに通えないお子さんがいる。外部から先生を呼ぶなどして、無料学習会などがあるといい	その他, 3	不登校、多様な学び
7	40-49歳	??過度なインクルーシブ教育には反対です。普通級判定の発達障害児の親です。定型発達のお子さんたちと同じ教室で学んでもしんどいことばかりです。学校にはとてもよくしていただいており不満は全くないのですが子供たちは大人が思うより敏感に違いを察します。予算と人員を増やして、情緒級の拡充こそ必要だと考えています。??包括的性教育・過度な性自認至上主義にも反対します。防犯のため・子供達の羞恥心に配慮して【生まれの性別からは逃れられない】ことを原則とし 流行りのオールジェンダートイレなどを取り入れないでほしいです。地域の人が簡単に入れるようにするなど危険です。絶対にやめてほしいです。	3, 8	インクルーシブ、複合化・共用化
8	40-49歳	学びたいことが多様な人が、それぞれを尊重しあって共に学ぶことを前提とした空間であることとよいです。多様な人がいないこと(みんなが同じ)を前提とした空間や方法でみんなが学ぼうとするから無理が生じて、指導者や環境に負担がかかっているのだと思います。それぞれ学びの主体が、他の学びも尊重しつつ、自分の学びを大切にすることを意識をもって学ぶことで、誰にとっても学びやすい空間になると思います。これまでも就学前の学びの場は、多様な子供がいることを前提にして、環境が作られてきました。学校やそこを卒業後してもそのような場所になれるよう、自分たちで協力して作れるようにしていくべきではないでしょうか。多様な遊びができる、学びたいことが学べる、好きな学びや運動がしたい人が集まれる空間があること(ひと昔前はそれが当たり前だったかと。)が学校に求められていると思います。	3	多様な学び
9	40-49歳	・地域の大人に参加してもらおう。登下校時の見守り、保護者の得意分野でイベントや講習会をしてもらおう。親、先生以外の大人に接する事は成長につながると思う。 ・スポーツをしている子は試合などで市内他校生徒とも交流があるが、大半の子は機会が無いので世界が狭い。6年時の連合音楽会では遅いと思う。先生交換授業とか、給食体験とか出来そうなのから計画できませんか？ ・いじめやいじめによる自殺が起きた時、未だに他自治体の隠蔽がある事にがっかりする。日野市の教育委員長は数年前に新しくなられたので期待しています。その前は教育関係者の知人からの評判も酷かった。 ・移動教室の施設が日野市の施設を使えないのは残念。長男はギリギリ使え、食事や施設に喜んでた。次男は府中市利用でしたが、食事が酷かった。大成荘を復活させてあげたい。	その他	地域交流、社会教育施設
10	30-39歳	ハード面においては、断熱効果が高く冷暖房昨日を抑制できる構造、「水と緑のまち」を表現させた設計、太陽光を取り込み不用意に電気をつけなくて済む設計を希望します。ソフト面については、学校の先生は教科教育の習熟を充実させられる各種工夫に集中していただき、子どもたちのメタスキルを育てる部分は積極的に地域資源や民間組織を投入できる学校のシステム設計や民間のノウハウを導入できる予算組が必要です。社会教育分野を充実させ、学校に導入できる枠組みと予算組によって不登校・インクルーシブ・教育の最適化・DXやICTなど様々な課題は乗り越えられる素地ができて欲しいです。現在日野スポ日野カルの2類制度が運用されていますが、様々な分野において「ソフトは外で、教科学習は学校で」が本来の学校の役割でないかと考えます。様々な提案を学校に持ち掛けますが、異動で市外に出てしまう先生方に取捨選択されることには違和感があります。	10, その他	環境負荷ほか
11	30-39歳	〇〇小に籍がある不登校児の親です。学校からは不登校児に関して何も働きかけをしてくれません。親が支援を探さないといけません。しかし、何をしたら良いかわからず、誰に相談したら良いのかもわかりません。子どもたちの困りごとを、いつでも相談できる場所が学校内にほしい。管理職やSCではなく支援員のような方が常駐して窓口になっていると話しやすい。SCは予約制で尚且つ週1. 2回しかいらっしやらないので、本当に必要な時に相談できない。先生たちはいつも余裕がなく、忙しそうにしているので、子どもも親も気軽に話すことが出来ない。	その他	不登校支援
12	50-59歳	【災害時の教育の早期再開】 学校施設が災害時の避難所になった場合の課題の一つは、教育施設としての早期再開と考えます。他施設と併設であれば、災害時の避難所機能は教育施設以外を中心とすることで、教育の再開を早めることが可能になると思えます。災害時はシャワーなどの環境が不足しますので、プール水を濾過しシャワーとして使用できる設備を整えられるとより良いと思えます。	9	避難所(教育活動再開)
13	無記入	大人と子供が共に学び合える場 小・中・高・大・特別支援、図書館が一体 市の枠を超えた機能の分散	8, その他	複合化・共用化、一貫校
14	30-39歳	添付資料に、環境に関する方向性として「ZEB化」や「木造利用」が示されていますが、これらの対策は、気候変動問題という、ひっ迫した課題の解決に向け、優先的に推進する必要があると考えています。さらに、エネルギー消費量(CO2排出量)や発電量の見える化や、環境観点(どこ産の木材など)での情報表示を行うことで、施設利用者の環境問題に対する理解・意識変容といったソフト面での効果も得られると考えられます。また、環境面の対策における別の視点として、市内学校の一部では、ピクトブ整備も環境教育の一環として取組まれています。生物多様性の側面での利点も大きいことから、取組みを広げていくことが良いと考えます。子供のうちから「環境に配慮された場所・空間」で活動し、それを普遍的なものとして捉えられるようになることは、今後の持続可能な社会づくりにおいて、重要なことだと考えています。	10	環境負荷
15	30-39歳	様々な学年が交流しながら学べるオープンスペースの設置や、インターネットなどの電子媒体と図書室など紙媒体、どちらも同時に利用しながら検索したり学ぶ場があると良い。また学びの基本となる校舎の老朽化が目立つため、冷暖房や空調を設置して学びに集中できる場所にして欲しい。	1, その他	オープンスペース、老朽化対策
16	20-29歳	学校施設には、受験のための教科的な学習ではなく、子どもの興味に則した総合的な学習をする場であることを求めます。	その他	総合的な学習
17	30-39歳	子供の学習空間としては、1つの机でグループごとに協働して学べる部屋がほしい。またデジタル機器が充実していて、プレゼンテーションや議論ができる場所もあるといい。公共施設として図書館の資料を活用しながら、学習できるスペースがほしい。わざわざ借りることなく、手元に本を置いて勉強をしたい。また仕事の後でも、1人で作業ができるような場所がほしい。図書館は幅広い世代の方がいるので、子連れでは肩身が狭い。赤ちゃんなどの子供が気兼ねなく本をゆっくり読める、子供専用の図書館があると良い。	1, その他	多様な学び、図書館、ワークスペース
18	40-49歳	発達障害、学習障害、多動など障害者では無く特徴や特性と言われる時代になり、本人達が生きるための選択種が増えて来ているが、理解されなかったり排除される機会が増えてしまっている。特に学びと言う点では、テストの成績や授業態度、宿題などが優先になってしまう。その3つが出来ない子供達ものびのびと学校生活ができる施設運営をしてもらいたい。例えば、農業や酪農、自然や動物を通して必須科目と言われる勉強が身につくようなカリキュラム。イジメや、人のせいにして不登校になるケース。被害者が被害者を産むような社会を作らないにか。自由に選択して自由に学べる豊富な何かがあったら良いと思ってます。苦手な事を無理に努力するのではなく、他の力を借りる術を知り、楽に自分の力に換えて行ける学びが必要だと思います。学習ができない→AIを使う 運動ができない→補助器具を使う コミュニケーションが取れない→	その他, 1	個別の学習支援、多様な学び



回答番号	年齢(世代)	学校施設に求められる学習空間のあり方、あるいは公共施設として求められる機能について	10の論点	キーワード
19	40-49歳	現在の教育DX化には疑問があります。小学校のうちはスクリーン越しに観る世界よりも実体験を重視してほしい。デバイスを配ってアプリを利用する、与えられる教育ではなく自ら発見して創意工夫する力を育ててほしいです。音楽や楽器も上手に弾けること、を重視して児童を選別するのではなく出来るようになるための練習を重ねるプロセスを大切にしてほしいです。子どもたちの言葉遣いなども含め、何かを知っている、出来ることを評価する場合は学校外にも沢山ありますが、人としての在り方や取組む姿勢、望ましい生活リズムや環境を保つための努力を認める教育環境が学校に通う大きな意義だと考えております。シニア世代との関わりにおいても礼節をもって接することを保護者をもっと巻き込んで子どもたちに伝えても良いと思います。	2	教育DX
20	30-39歳	数年後に我が子を小学校へ入学させる立場の人間です。多様な学びを実現する学習空間や様々な活動の拠点となる公共施設へ向けた取り組みも結構な事ですが、現場の教師の先生方の負担を増やす事のないようにしてほしいです。ただでさえ忙しいという話題に事欠かない職業です。余裕の無い人間に我が子を任せる事は不安ですし、教育の質の向上は人員の身体的時間的余裕が無ければ成されないものだと思います。本旨から外れているかとは思いますが、何卒よろしくお願致します。	その他	働き方改革
21	40-49歳	書取りに拘らず、タブレットやPC等、子どもの能力にあった受講方法が選択できるインクルーシブな授業。記憶するだけでなく、将来的に社会へ出た際に必要な「考える力」を身に付けること。相手を否定せずに肯定しつつも自分の考えを伝えられるようになるディスカッション等の授業や空間があれば社会に出た際に潰れる事なく、どんな相手でも対等に渡り合えるようになるのではと思います。	1	多様な学び
22	40-49歳	〇〇小に通っている保護者です。先生方が忙しい様子が伺えます。雑務等先生方の負担が少しでも減るように、手伝えるような業務は市として、人員を募集することはできないですか。(パート等で)日頃の子どもの様子が身近に感じられると嬉しいです。	その他	働き方改革
23	40-49歳	小中学校の温水プール及び屋内プールの実現を強く求めます。現在、多くの小中学校では水温が低くて震えながらプールに入るなど、プール授業が苦痛になっている児童が多い。また、7月は雨が多く必然的に授業回数が減るため、多くの児童は泳力を外のスイミングスクールに頼っているのが現状。市政を見直し、学校設備に多くの予算を充たすべきだと思います。	その他	プール
24	50-59歳	学校施設の活動では、地域の方々が無難に授業中も見学や参加できるようにした方がいいです。閉鎖的ではない学校にすれば、地域にも開かれる施設になります。机の位置は、円座にするとか自由度がある方が意見が交換しやすい、顔が見える、など対面する形にした方がいいと思います。従来の前を向いて同じ方向に集団で座る、先生が前に立つスタイルは、授業内容により変えた方が子ども達がやりやすいのかもしれませんが。指導する先生は一斉に生徒の顔が見えない机間循環して移動する必要があるかもしれません。ワークショップ形式や実体験の活動をもっと増やして街に出て歩いて学んだり等のフィールドワークを増やしたらいいと思います。机上の学習中心よりも、体験型を増やして欲しいと希望します。公共施設に求めることは、広い敷地と立派な建物があるので、子どもと地域をつなぐ活動を学校の授業以外にも使えるよう開いて行く事ができたらいいですね。	8,1	地域開放、多様な学び
25	40-49歳	時代の流れや、個人の特性にフレキシブルに対応した学習スタイルを柔軟に、迅速に対応してほしい。(通常授業でのタブレット使用の許可など)息子は通常級に在籍しながら、ステップ教室を利用し、先生の支えを受けながら成長して感謝しています。しかし、視覚過敏や、黒板をノートに写す、などが極端に苦手で、その作業にかなりの時間がかかり、同時進行で進む授業内容を聞き漏らしてしまったり、疲労から1日授業をやりきるのが困難な状態です。ですので、タブレットを活用して文字入力できるようにすれば、先生の声に耳を傾けるゆとりが生まれ、結果として学力の向上、自信、精神的ゆとりが生まれると思います。学校教育の内容は深く、多く、子供にとっては、一つの遅れを取り戻すにはかなりの時間を要するという負担があるので、柔軟な対応が現場の先生の裁量でできる、などが認められていくといいと思います。	1,その他	多様な学び、個別の学習支援
26	40-49歳	学校公開等に参加すると学校がいつも汚いのもっとキレイにすべきだと思います。また、年間を通して朝の小テストをしたり、ワーキングメモリートレーニングを取り入れたりと、検定を受けたりと、学生が向上心を持てるような環境づくりをして欲しいです。	その他	生活環境、学習支援
27	40-49歳	避難所にもなる学校、そしてはじめての義務教育の場である学校は、きれいで、避難時には安心して寝泊まりのできる場所であってほしい。例えば、衛生的なトイレはもちろん、入浴やシャワーが浴びられる、また一定期間寝泊まりが出来ように畳や転がっても安心で寒くないフロアのある部屋、パーティションで個室に仕切れるなどの工夫があるとよい。発達障がいや過敏な子供でもストレスを感じない雰囲気にするには、子供だけでなく避難時は市民にとってもよい。我が子は、独特な学校の雰囲気が苦手で私も好きではなかった雰囲気が30年以上ほほかわらず残っているので、もっと北欧などリラックスしつつも教育も進められている国を見習うなどし楽しく魅力的なものにしてほしい。	9,その他	避難所、生活環境
28	30-39歳	学校施設は防犯のため、できるだけ関係者以外は入りにくい造りでお願いします。文京区小2女児殺害事件や神戸連続殺傷事件や大阪教育大付属池田小事件のようなことが起きにくいように考えてください。昨今ジェンダーレストイレとして男女共同トイレを導入する学校があるようですが、これにも反対します。男女別のトイレで男女トイレの出入り口は離して、息子たちから話を聞くと見られることがとても嫌だということなので男子の小便器が廊下から見えない造り(小便器の間にも衝立かできれば個室)にしてほしいです。自宅ではすべて座ってすます男の子も増えているので男子トイレの個室も複数用意してあげてほしいです。防犯については以下に参考URLを記載します。 <a href="https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/038fa34ba71eae0e85b93572e3a96092ac6acd60">https://news.yahoo.co.jp/expert/articles/038fa34ba71eae0e85b93572e3a96092ac6acd60</a>	8,その他	セキュリティ、ジェンダーレストイレ
29	30-39歳	子供達が自分たちで学べる、学びを選べるような学校であってほしいです。学習進度もそれぞれだと思うので個にあった支援をしてもらえたら嬉しいです。また、保護者も多様な学び方への理解を深められる機会があったら良いと思います。教員に関しては多忙な仕事に追われて子どもをしっかりみられてない教員、教育や特別支援に関する知識がアップデートされていない教員が多いと感じます。教育に関する仕事に専念できるよう、外部委託する部分は委託して働き方を変えていけるともっと余裕ができてと思います。	1,その他	多様な学び、教員の働き方改革、研修システム
30	40-49歳	これまでの一律の普通学級、そして支援学級の区分けだけではなく、集団生活が苦手な子どものために校内居場所カフェ的なスペースを作って、不登校の子どもが授業は受けられなくても登校だけでもできる環境を作って欲しいです。逆に本人の希望があれば極力全員を普通学級で学べるフルインクルーシブの態勢を作って欲しいです。いろんな選択肢の中から子ども達が選べる仕組み作りをして欲しいし、場合によっては地域の居場所の一つとして、様々な属性の人が放課後の見守りなどにも参加して欲しいです。ひのっちの発展版として	その他	不登校支援、放課後育成
31	30-39歳	学校はそもそも子どもや先生が中心の施設なので、検討する上で、より多くの子ども・親・先生の意見が反映されること、地域の重鎮・既得権・権力のある・声の大きい人の意見が反映されがちなのかと思いますが、今の社会情勢に沿った教育環境が出来ると良いと思います。一方で、地域の重鎮・既得権・権力のある・声の大きい人の意見を排除しろと言うわけではなく、その環境に長く、大きく携わった方々の意見に対して、何が地域にとって不変的、普遍的な価値なのか、その価値が、今の多様で、変化の大きい、先の読めない社会になったときに、どのように読み替えられて、違った形で、空間や取組み等に反映されるのかについて議論されて欲しいし、この読み替えがこれからを担う人に在って欲しいと思います。柔軟に変化する価値感と普遍的な価値観がこの地域では何なのか、建設的な議論がオープンにされた上で、最終的な空間設計に反映されることを望みます。	その他	意見反映のあり方
32	50-59歳	視覚障害のある子には、点字ブロックや音声などによる案内の設置。聴覚障害のある子には、緊急時であることを音が点滅することで知らせる警報装置や、補聴器や人工内耳を使っている人が、音や声をより聞き取りやすくする設備の設置。発達障害などの子がパニックになった時に、落ち着くためのスペースの設置など、障害の特性を踏まえて設備を整備していくこと。体育館のあり方も検討してますか? 避難所開設に対して情報機器、アイドラコン4等を設置するべきだと思います。検討内容を公開するように求めています。最終決定する前に市民など説明会、意見交換会を開催してほしい。	3,9	インクルーシブ、避難所
33	50-59歳	学校の給食室とランチルームをつなげる。給食用小荷物専用昇降機やクラス分必要だった食器、ワゴン等がほとんどいらなくなる。地域への開放についても検討の幅が広がると思う。	その他,8	地域開放
34	40-49歳	医療的ケア児の受け入れや、避難所としての機能を考えると、予算的に厳しいかもしれませんが、バリアフリーの環境の整備、エレベーターや車いすでも入れるトイレは各学校常備されているといいと思います。日中の小中学生の学校生活が第一ではあると思いますが、地域の学校が避難所として指定されていることも考えると、新たに学校を建設する場合は、避難所としての機能(物資の保管場所や動線の確保等)も建設の段階から考えておくのとよいのかなと思います。不登校の子が安心して登校できる場所(校内フリースクール的な場所)もあるといいと思います。	9,その他	バリアフリー、避難所、不登校支援
35	40-49歳	多様化する子どもたちに対応して欲しい。大きな集団が苦手な子が、他の子の集中を妨げている実態があり、我が子が困っている。学びたいという気持ちを大事にできるような空間や多様な子どもに対応できる人材の配置をお願いしたい。心の育ちの学習にも目を向けて欲しい。また、部活はしっかり行っている子が認められる場であって欲しい。3中のように、制服やジャージ登校のルールを子どもたちの意見を反映するなど、子どもたちの自主性を大事にして考える力をつけられると良い。先生が個々のスキルを高め、学習が楽しいと感じられるような授業にして欲しい。音楽など子どもの才能を最大限活かせる先生が異動すると、その後のギャップが大きすぎるので、いかになまのかと思う。子どもの個性が引き出され、魅力ある大人に育つような学びができる学校作りをお願いしたいです。	3,その他	多様性、自主性、スキルアップ



回答番号	年齢(世代)	学校施設に求められる学習空間のあり方、あるいは公共施設として求められる機能について	10の論点	キーワード
36	40-49歳	多様な子供たちが同じ空間で教育を受けられることを望みます。最近の市民意識調査では、学校教育に望むことはどのようなことか?という問いに、能力や障害の状況にあった指導してほしいという意見が49.4%でした。これまで障害特性に合った教育を提供するために特別支援教育を推進してきましたが、本来であればすべての子供が地域の学校に通い、友達や兄弟と一緒に成長していくべきだと考えます。しかし、実際には彼らを支える制度、支援、合理的配慮の提供が少なく、特別支援学校を選ぶしかありません。他の回答では障害の状況に関わらず、通常の学級で受け入れてほしい9.0%、通常の学級との交流機会を増やしてほしい15.7%と分けられることへの慣れが、数字に表れています。国連からの指摘やSDGsの目標4も、「質の高い教育をすべての人に提供する」という方向性を示しています。すべての子供が差別を受けずに学べる環境を作ってください。	3	多様性、合理的配慮
37	40-49歳	○年齢にとられない学習 それぞれ発達が違うので、1年生でも6年生の学習をしても良いし、苦手なところは逆があっても良いと思う。大人も「もう○○歳なのにできない?他の人はできるのに。」なんて言われたら嫌じゃないですか? ○自分や皆の得意、苦手を知り、協力して学習 何かしなければならぬ時、学校では一人で頑張らされる事が多いですが、自分の苦手は誰かの得意な事だったりするので、それぞれの得意を生かせるような学習が必要だと思う。日本人は周りに頼るのが苦手なのは、子どもの頃からずっと「自分が努力すれば、頑張れば、できる!」と思わされているからだと思う。苦手な事やできない事は誰かに頼り、協力していこう! ○特別支援教育の超力リスマ! 明星大学 星山教授にご意見を聞きましょう! 明星大学は日野市にあります。星山教授にもっと日野市の教育に関わってもらいたいです!先生、環境が変われば子どもは変わります!	その他, 3	個別の学習支援、特別支援教育
38	30-39歳	学びの空間として、用途の自由度の高い(動かせる)設備が備えられていることは理想的です。一方で、教室が開かれ過ぎていると、静かに集中できないなどの弊害もあり、後から改修費などもかかります。オープンプランの悪い面も鑑みることが肝要だと思います。環境衛生に配慮がほしいです。よく日の当たり風通しがいい、緑が多く癒される、エアコン完備など、気持ちよく学べる土台を充実してほしいです。これらは職員室にも同様ですが、フリーアドレスは集中力が散漫になったり、準備・片づけに時間がかかったりする欠点も見られるほか、情報管理に適さないため反対です。地域(市民)として求めたいのは施設の開放です。いまもなされているとはいえ、手続きが煩雑で利用団体も同じ顔ぶれに独占されている印象があり、利用のハードルが高いです。将来構造的には、公民館や駐在所など機能的相性のいい施設を組み合わせ、持続可能性の高い公共施設が望まれます。	2, 8	オープンスペース、地域開放
39	無記入	日野市の学校施設と社会施設は古いだけでなく、まともな手入れがされていない。ここまで老朽化が進み、時代適合がなされていないこれらの公共施設の方向付けは急務である。タイトルにあるとおり、学校教育と社会教育は一体で考えていくべきもの。日野市の社会教育のあり方が全く見えない。子どもの環境を最優先に考え、それを支える学校と社会教育の融合のあり方を真剣に考え、確実に実行に移行して欲しい。重要な判断をこれ以上先送りしてはいけない。	8	社会教育施設
40	50-59歳	学校の教育制度が、明治時代戦前から150年間変わらず現代に合わないです。1人一台配布されたノートパソコンやオンライン配信授業は充実してきていますが、学習指導要領の中身自体を変えていく必要があります。机の配置を変えた方がいいです。海外の学校を参考にすると、コの字型で並列ではない配置です。生徒同士がコミュニケーションがとりやすく先生の立ち位置も見やすい真ん中です。カリキュラムもクラス毎ではなく、柔軟に単位を取る方法、大学みたいに興味関心がある教科を取る履修方法などを取り入れる。 学校の時間拘束が長すぎるため、午前中だけの曜日、午後だけの曜日などを組み込んだ柔軟なスケジュールにした方が心身に余裕が出ます。家庭にいる時間が少な過ぎるため保護者と過ごす時間がありません。農作業や生活体験活動、調理などを増やす方がいいです。机上の学習より体験型学習に比重を置いたカリキュラム全体の改革が必要です。	1, 2, その他	ICTを活用した学習、多様な学び、カリキュラム
41	40-49歳	難しいことをやる前に、まず教育環境を整える・良くする、当たり前前の環境整備を少しでも早く実現することを考えてほしい。一体何年前の学校設備を使っているのか?自分が小学生時代の時から変わっていないように見受けられる。古い校舎、ポロポロの壁、汚いプール…子どもたちが本当に可哀想です。	その他	老朽化
42	40-49歳	学校施設や校庭の貸出を、有料にするのはやめてください。子どもたちが生き生きとスポーツや文化的活動をするために、保護者や地域の方々ボランティアでサポートしています。各家庭の毎月定額の費用が、低額での活動ができるからこそ、どんな家庭環境であっても前向きに所属でき参加できます。何かを背負いながら参加することは、子どもにとっては、生涯の心のキズになり、大人になったとき、社会でいきづらくなると思っています。長い見通しを持って、市政は考えていかなければならないと思います。	8	地域開放、有料化
43	30-39歳	登校、下校をスマホに知らせる機能がほしいです。算数、英語、プログラミングは専門の先生が指導していただけるとありがたいです。校内のトイレが老朽化しています。汚くて使いたくないようです。また学童に入るのが困難な子供達のために放課後の教室や校庭の開放を望みます。いま1部屋のみの開放で混雑して行きたがりません。学校周辺の公園についてですが外灯、時計、トイレのある場所が少ないです。とくに外灯は少なく防犯が心配です。	その他, 8	トイレ、地域開放
44	無記入	○○中学校が全国大会、関東大会と出場しているのを知りました。ここでスポーツを盛り上げたいかがでしょうか?ふれあいホールにはハンドボールコートがないみたいですね。大会に出場しているのにハンドボールコートが無い体育館があるとは残念です。	その他	体育館、部活
45	40-49歳	子供が発達障害なのですが、よく聞く「集団生活が苦手」や「聴覚情報を聞き取れない」等の特性への合理的配慮はもちろんですが、どうしても逃げられない学校行事(運動会や発表会や○○大会等)の練習が嫌で学校に行けなくなる子供も多いかと思います。行事そのものを不参加という選択はあるのに、学校に行けば練習に不参加はなかなか難しい。「行事の練習を強制されず、好きな学びができる」そんな学校のシステムだと、苦しまずに済む子供が増えるのではないかと感じています。	その他	学校行事
46	50-59歳	子供が小学生の頃、ひのうちの存在に助けられました。そこで宿題をしたり大学生のパートナーさんと遊んだり勉強をみてもらったり感謝しています。小学生の勉強の格差がコロナ禍以降さらに広がっていると感じます。寺子屋的な場所が学校内にあると中学で苦しまず最低限の知識(3年生で九九、筆算等の理解不足)得ることができると感じます。	その他	放課後育成、個別の学習支援
47	40-49歳	インクルーシブ教育の導入。障害のある生徒と障害のない生徒が同じ教室で一緒に学ぶ。能力や個性による分断をなくす。そのために教職員、学校関係者だけではなく、保護者、地域住民がボランティアで学校に入り協力できるシステムの確立。先日小学校の学校公開にて、体育で特別支援学級と通常学級が一緒になって授業を行う様子を見学しました。そこで特別支援学級の生徒を、通常学級の生徒の進行に、先生が合わせさせている様子を見ました。具体的には、列からはみ出した生徒を無理やり戻す、質疑応答の時間帯に質問しようとした生徒を黙らせる(遅延するから?)など。私はショックを受けましたが、周りの先生も、通常学級の生徒も、それをよしとしている様子でした。学級がいじめと差別の温床になっていると、とても残念に感じました。学校が決断すれば、協力者は出てくると思います。多様性を尊重する社会を作るため、教育現場を見直す必要があると思います。	3	インクルーシブ
48	40-49歳	○○小学校に子どもを2人通わせています。まず、体育館にエアコンをお願いします。このご時世無理です。そして、○○小学校の周り、とくに学校に近い交差点に、大人が誰も立っててくれません。子どもが入学したときから、学校に着く最後の交差点が歩道がなくてあぶないのに、日野市とかかかれたおじさんやお婆さんは、立っていたとしても月曜日1日、先生方をお願いできないものかと、校長先生にたのんでも、何の動きもありません。よく交通事故が起きてない、今まで起こってないかなと思っています。なので、私は、仕事の出勤ギリギリですが、校門まで子どもと一緒に歩いて行っています。そうでないととにかく1番学校に近いところが危ないからです。そのような意見を汲んで頂きたいと思っています。	その他	空調機、通学路
49	30-39歳	年少の子どもがいます。小学校入る時に場所見知りしたり慣れるまで時間がかかったり楽しい場所と把握するまで時間かかる子もいると思うので幼児対象に校内探検や校庭の使用だったり日曜日の午前中とかだけでもいいので月1で開放出来たら楽しいのかなと思います。体育館で少し遊んだり出来たらいい経験になるのかなと思います。	その他	プレ体験
50	40-49歳	子どもたちが将来に希望を持てるような学習内容と学習空間にしたいと思います。昔の学校よりも自由である分、子どもたちやその保護者は、将来の幅が広がると同時に戸惑うことも多いのではないかと思います。さまざまなことに触れて経験することは大事ですが、将来的にどんな仕事が必要なのか、生活できるかなどそういった具体的なことも教えてあげて欲しいと思います。	1, その他	多様な学び、キャリア教育
51	30-39歳	安心感があり、リラックスできる、心地の良い空間。大人も子供も集える、地域コミュニティの拠点。子供2人が南平小に通っていますが、公開授業にいくと、教室の狭さに驚きます。あんな狭い空間、あの人数の子供たちでは、密度が高すぎます。空気もよどみます。あれでは、教室にいただけでストレスが溜まると思います。前後左右のお友達との距離も近すぎて、いざこざも発生しやすくなると思いますし、のびのび過ごさないと感じます。ひとクラスの人数を減らすなど、検討よろしくをお願いします	2	生活環境
52	50-59歳	地球沸騰化緩和のため○校庭は土、芝生を増やす。○暑さにも寒さにも病害虫にも比較的強く、食用など多目的、多種樹木の植樹。○農地の確保。○用水の引き入れ。○自然科学教育の強化。○生活力の強化。○体力(遊び)増強 以上	10	環境負荷

回答番号	年齢（世代）	学校施設に求められる学習空間のあり方、あるいは公共施設として求められる機能について	10の論点	キーワード
53	30-39歳	府中から日野市に越してきて感じるのが、公共の施設での子供の習い事の、少なさを感じます。南平体育館は、新しく建ったのに、子供の習い事としてはあまり活用されていないような印象です。種類が少なく活気がないと感じております。文化系お勉強などの習い事も平山南平エリアは少なく、少し離れると1人で行くことができないことも多いです。	その他	習い事
54	30-39歳	まず、過ごしていることもたちが環境で体調を崩すことのない場所であってほしい。こどもの通う体育館が扇風機だけなのですが、昨今の暑さは尋常ではなく、エアコンがつくと安心します	その他	体育館、空調機
55	30-39歳	学校のプールは老朽化しているので、地域のスイミングスクールと連携して、改修しなくてすむようにしてほしい。校舎はオープンスクールが流行っているが、子供達が集中しにくくなる場合があるので、よく検討してほしい。地域の防災訓練を活発に行い、災害時学校に避難した時に落ち着いて対応できるようにしたい。一部の地域では防災訓練があるようだが、よく分からないので、もっと情報発信してほしい。	その他, 9	プール、防災拠点
56	30-39歳	障害のある子と健常者の子が同じ空間で学べるといいなと思います。子どもの安全を守るというところでは、日中に関しては色々な方があまり出入りしない方がいいかと感じます。放課後に関しては中学校のように外部の方の指導が受けられる場になるといいなと思います。	3	インクルーシブ
57	40-49歳	空き教室を利用して高齢者と乳幼児混合型、或いは別も含めデイサービスを開設しては良いかと思います。普段から出入りしておくことで災害時に避難した際、慣れた施設として過ごせると思います。コロナ禍に夢が丘小学校で6年生の行事で行った、学校泊も良いと思いました。	7, 9	複合化、防災拠点
58	40-49歳	色々な学校の良い所をたくさん取り入れて行って多くの学びを体感してほしいです。外泊などイベントも1年生の時から学校に泊まったりして、そこで家では学べないたくさんを経験してほしいです。(防災泊とか小さなうちから防災について学んだりできるよう午後から登校し防災について学び飯と朝食は防災食を食べたりし、朝の9:00下校とか学校の先生のあり方で良いのですが、学びをしてほしい。) 5年生からではなく、1年生から一泊でというのがいいと思います。また、いつでも学校の体育館の利用がたくさん出来るようになると嬉しいです。子供からバスケがしたいと話が出るのですが、する施設が限りがあり予約も取りにくく、実現が出来ていません。もっと体育館の開放があればとても嬉しいです。まだまだ難しいことはあるかもしれませんが、この意見が少しでも通り子供に還元できればと切に願っております。どうぞ宜しくお願い致します。	9, 7	防災拠点、地域開放
59	40-49歳	「地域の拠点としての機能」 グラウンドや体育館、教室のPC機材などを含めた施設面を活用し、学校教育と地域交流のクロスする拠点としての機能を希望します。〇〇中学校で行われたほどくぼんおどりは学校の備品や機能をフルに活用させていただき地域の多世代交流を実現することができました。地域全体で子供を育てるという点と、生徒が地域のために何ができるかを考える機会、保護者が学校教育との接点を持つ機会、いろいろなことが生まれる空間となれる可能性を感じました。	7	地域開放
60	30-39歳	いじめのない、みんなが安心して通える場所	その他	いじめ

市民の皆様からのご意見については、引き続き集計の上、検討委員会の各回にて報告してまいります。